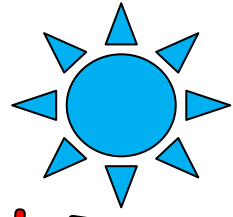


泉学区



まちづくり計画

いつでも どこでも だれとでも

ふれあえ 支えあえる まちづくり



2015年（平成27年）11月

泉学区まちづくり推進委員会

も く じ

1. 泉学区の歴史	P 1
2. 地形の特徴	P 2
3. 学区の変遷（地理）	P 3
4. 学区の構成	P 3
5. 泉小学校の概要	P 4
6. まちづくりアンケート	P 5
7. 活動方針	P 6～8
8. 山手・郷分歴史マップ	P 9
9. まちづくり推進委員会組織図	P 10

ごあいさつ

泉学区においては、地域住民一人ひとりがまちづくりの主役として、「自助」「共助」「公助」による協働のまちづくりを進めてまいりました。

その中でも「泉学区緊急時連絡カード」など生命を守る取り組みも、みなさんの協力により多くの成果をあげています。しかしながらまだ進んでいない取り組みや、アンケート調査から新たに、しかも優先的に取り組むべき課題も見えてまいりました。

第2次福山市協働のまちづくり行動計画に基づき、取り組む課題を全住民で共有し、泉学区民であることに愛着を持ち「出来ること」を「出来る範囲」から始めていこうではありませんか。

泉学区まちづくり推進委員会

委員長 寺田裕三

1. 泉学区の歴史

芦田川で運ばれた肥沃な堆積土は、弥生時代の人達の豊かな農耕生活を生みました。今は芦田川の川底となっていますが、草木や山手橋脇に弥生遺跡として名をとどめています。

以来、脈々と続いた農耕生活、それは水とのたたかい（制御と利用）の歴史というべきでしょう。山地から流出する谷川水、芦田川の洪水・流路の変遷への対応と、単独では出来得ない地域共同体の足跡をしのぶことが出来ます。

戦国乱世にあっても銀山城・青ヶ城・沖土居城を拠点に地域の守りをかためています。



1954年（昭和29年）8月：郷分土手から撮影

江戸時代に入ると農地の犠牲のうえに芦田川に堤防が作られ、西国街道（山陽道）が整備されました。

1919年（大正8年）の大洪水で芦田川の堤防が決壊し未曾有の被害にあい、その後の大改修により、多くの田畑が今日の河川敷や堤防となっています。

芦田川は天井川であるだけに増水すると山手・郷分の平野部は排水不能で水没する地域が多く、農作物に大きな被害をあたえたり、通行不能の状況がしばしば生じました。これも1985年（昭和60年）排水機の設置により解消しました。

こうした自然とのたたかいのみでなく、社会構造の変革を求める動きも見逃すことはできません。困窮する農民の生活向上を目指して、大正・昭和初期にかけて農民運動や消費組合活動に精を傾注した先輩諸氏のおられたことを忘れてはなりません。

2. 地形の特徴

福山市においては、現在までに3本の活断層が確認されています。これらの活断層の活動の危険度は、広島県地域防災計画（震災対策編）で想定されている活断層より低いものの、直下型地震の危険性も無視できません。

① 福山北断層

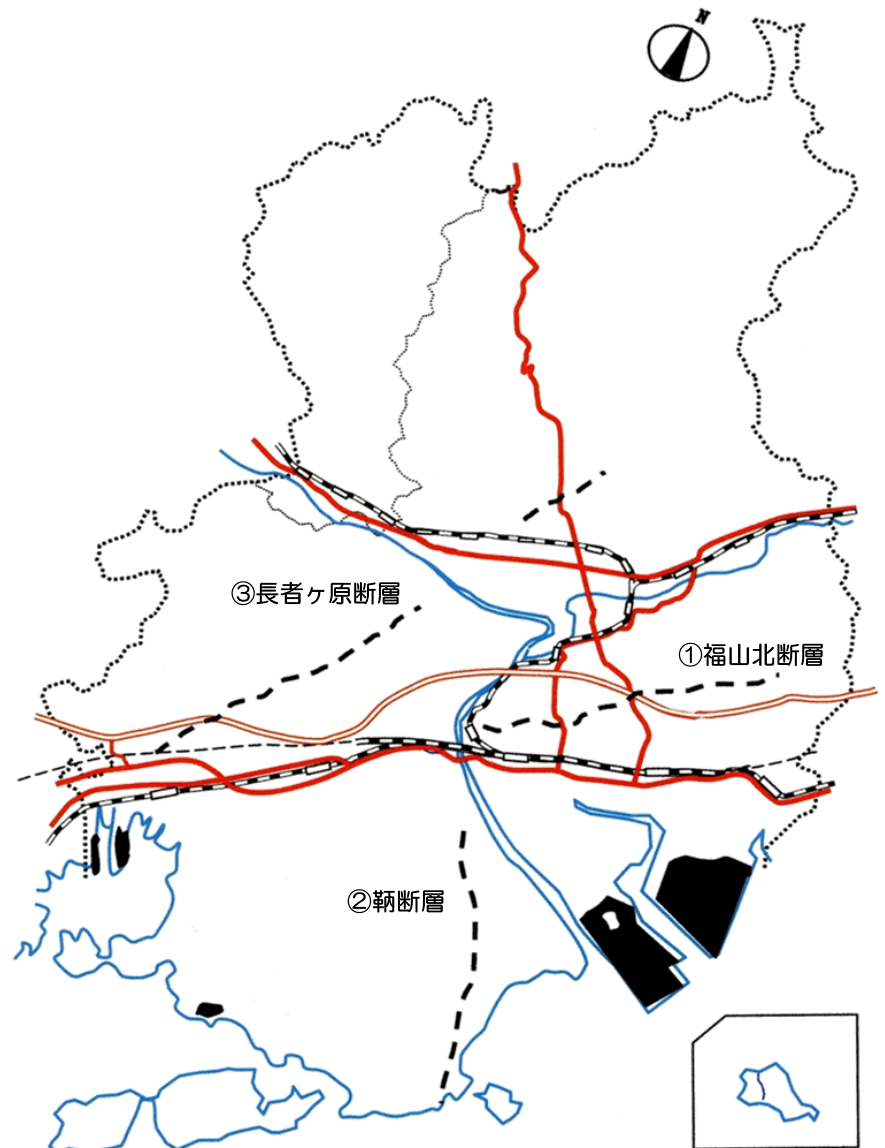
芦田川左岸の北本庄付近から神辺町上竹田付近にかけて、西東に約10kmにわたって断層が想定されており、奈良津町には福山衝上断層が確認されています。

② 鞆断層

芦田川右岸の水呑大橋南付近から鞆町平地区にかけて、北南に約10kmにわたって断層が想定されており、熊ヶ峰山地に沿って形成されています。

③ 長者ヶ原断層

本郷町付近から長者ヶ原（高増山の北斜面）をとおり、芦田川右岸の山守橋付近にわたって想定されており、国土地理院が2004年（平成16年）10月に発表した「都市圏活断層図」においては、御幸町上岩成の福山平成大学北側付近から北東方向に約2kmにわたって想定されています。



■ 沖積層の厚さが1.5m以上の地域
..... 活断層 [①福山北断層 ②鞆断層 ③長者ヶ原断層]

福山市の軟弱地盤と活断層

（新編日本の活断層 活断層研究会編 東京大学出版会

1991年（平成3年）、3月より）

◇大雨

2014年（平成26年）広島市で発生した集中豪雨による土砂災害については、災害が発生した山の土質が泉小学校西側の、萱野山の土質と類似していると言われており、泉学区においてもゲリラ豪雨による土砂災害が想定されます。

3. 学区の変遷（地理）

芦田川水系の下流域に位置する泉学区は、南東部に本庄の山系、背後は高増山から石槌山に連なる山々がせまり、狭隘な郷分地域と、これを受けて広がる山手地域からなります。

ここを南に貫流する芦田川により堆積平野が形成され、河川は天井川の性格を有しています。

山手町の中央部を流れる福川は、従来“古川”と呼ばれていたように、芦田川の流路変遷の痕跡を示しています。また芦田川の表流水は少ないが、伏流水が平野部でも流れています。

人々の生活も、こうした自然条件に合致して営まれてきました。農耕主体の地域であっただけに、水田確保のために居住集落は谷間や山裾に集中して形成されました。1955年（昭和30年）代後半期より産業基盤の変化、福山の中心市街地に隣接する等、山手町の平野部は農村風景から都市近郊住宅地へと変化してきました。

4. 学区の構成

◇学区の人口

男 2,660人

女 2,859人

合計 5,519人

◇世帯数

2,423世帯

◇町内会数

11町内会

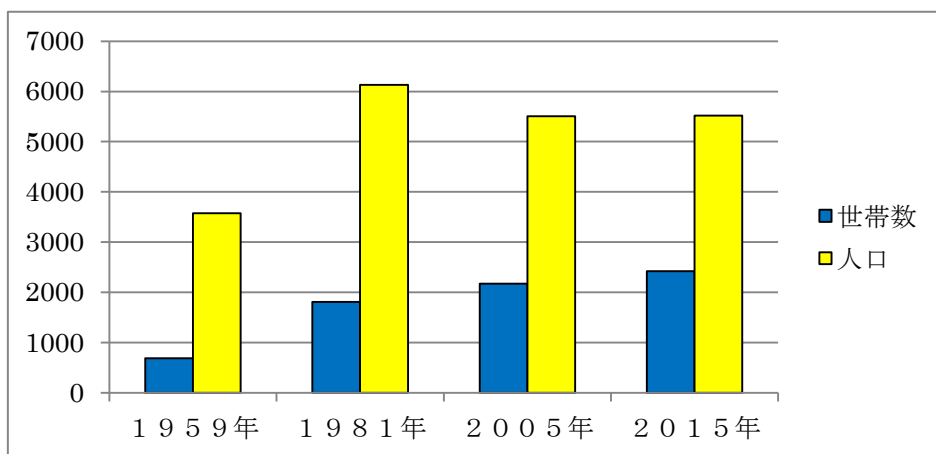
◇町内会加入世帯数

1,342世帯(町内会加入率 55.39%)

◇学区高齢化率（65歳以上）

1,532人（27.76%）

年 度	1959年 (S34) 3月末	1981年 (S56) 国勢調査	2005年 (H17) 3月末	2015年 (H27) 3月末
世帯数	668	1,811	2,173	2,423
人口(人)	3,572	6,133	5,507	5,519

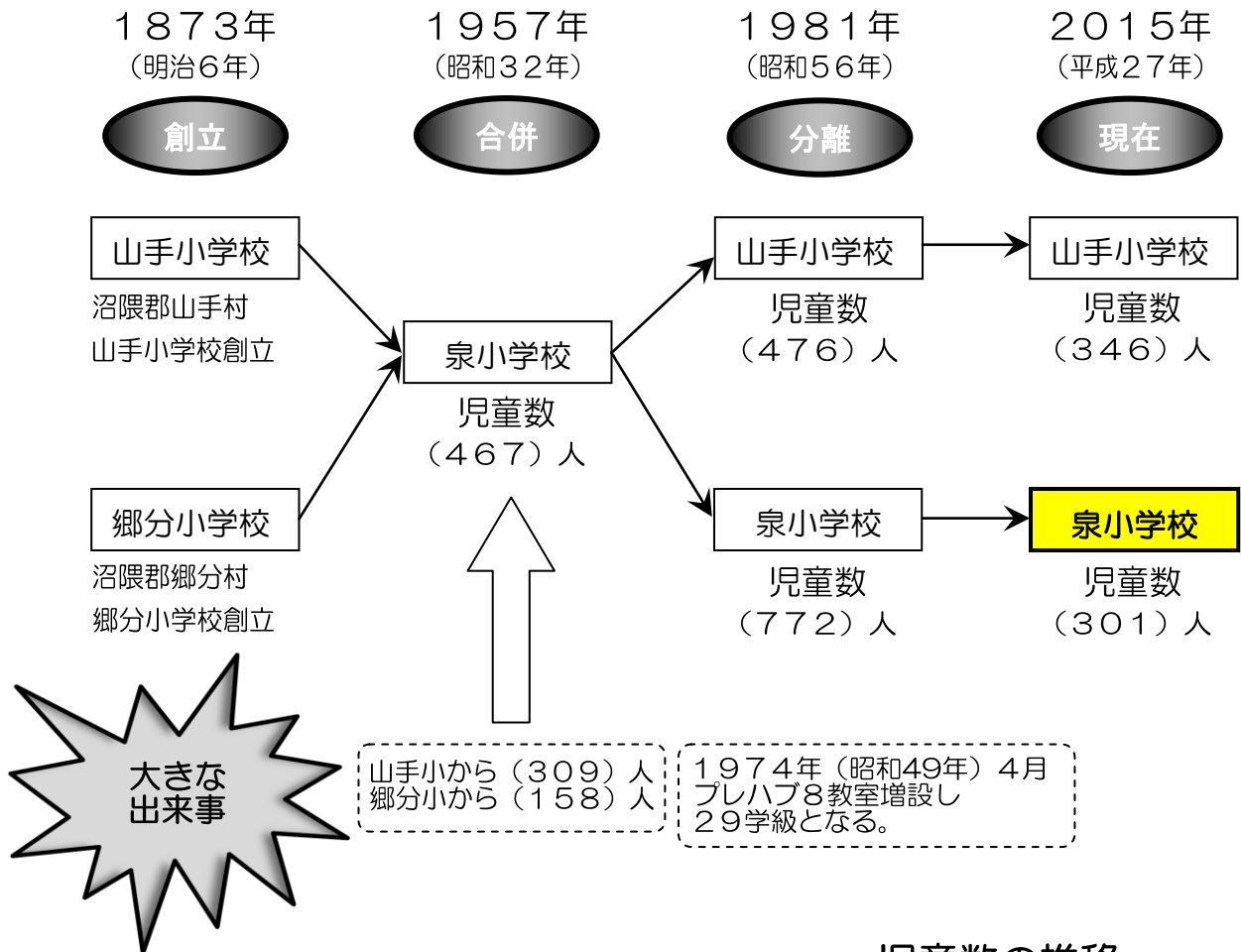


（福山市資料による）

5. 泉小学校の概要

子どもたちは地域のたから！

☆泉小学校の沿革史



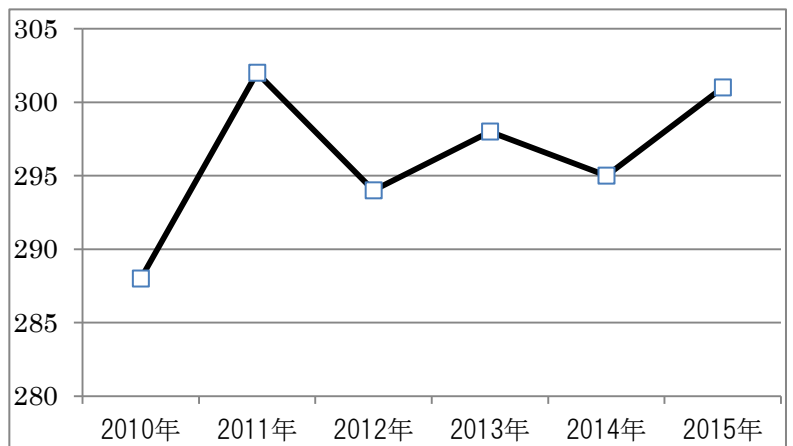
年度	児童数
2010年 (平成22年)	288
2011年 (平成23年)	302
2012年 (平成24年)	294
2013年 (平成25年)	298
2014年 (平成26年)	295
2015年 (平成27年)	301

1年生	47
2年生	39
3年生	52
4年生	48
5年生	55
6年生	60
合計	301

(人)

(人)

児童数の推移



城西中学校区めざす子ども像
学習意欲をもって学ぶ児童・生徒の育成

泉小学校教育目標
確かな学力を身につけ、優しい心もち、仲間とともにたくましく生きぬく子どもを育てる

(泉小学校：沿革史資料による)

6. まちづくりアンケート

調査の分析結果

□解決すべき課題・なやみについてアンケートを実施しました。

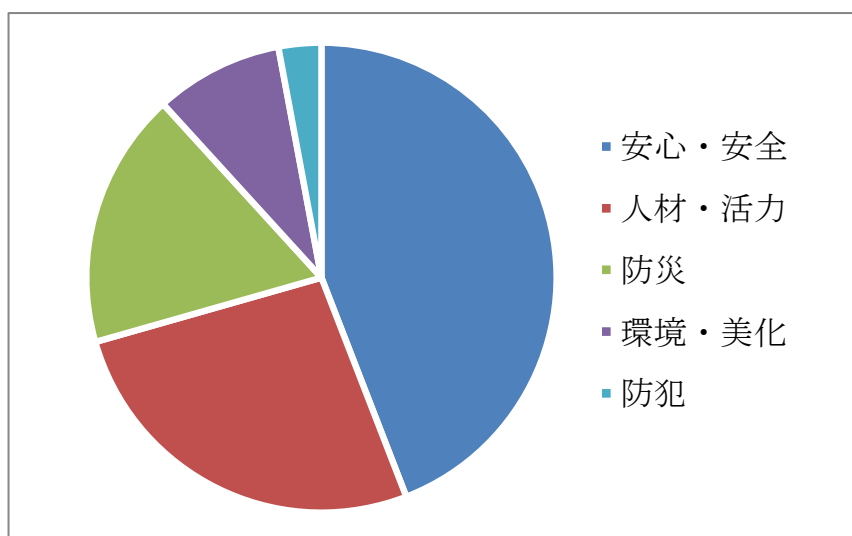
□実施日 2014年度（平成26年度）8月～

□実施団体 町内会・消防団・女性会

課題の内訳については、次のとおり

☆町内会	28件
☆消防団	4件
☆女性会	2件

安心・安全	15
人材・活力	9
防災	6
環境・美化	3
防犯	1
合計	34件



○安心・安全	通学路、通勤経路、犯罪、高齢者問題
○人材・活力	役員のなりて不足、組織の充実、高齢化
○防災	天災地変、急傾斜地、道路幅の狭隘
○環境・美化	路肩、芦田川の草刈り、雑木問題

アンケート調査からわかったこと

泉学区まちづくり推進委員会では、これからのまちづくりに向けた方向性を検討するため、町内会を中心としてアンケート調査を実施しました。

この中で、安心・安全に関する課題が44%を占め、多くの住民が重大な関心を持ち早期解決を望んでいることがわかります。

特に子ども達の通学路の問題、通勤時の福山方面への乗り入れ等、事件、事故に結び付くものも多くありました。

また町内会への加入率・町内会の役員をはじめとし、消防団員、各種団体の役員の担い手等も切実な問題となっています。防災関係については急傾斜地、防災マップの作成、避難行動要支援者への具体的取り組みの問題等、早急に解決すべき課題が見えてきました。

7. 活動方針

☆☆☆隣近所とのつながりを深め支えあう泉学区☆☆☆

高齢化率27.76%を超える少子高齢化、単独世帯の増加、これらにともなう介護等の悩みは増すばかりです。

また町内会単位での共同作業や活動の変容等多くの地域課題が発生し、町内会独自の解決は困難な状況があります。これらの課題克服にむけ、つぎのキーワード事業を充実させ誰もが住みよいまちづくりを目指します。

新規： 今後新たに取り組む活動
 継続： 既存事業で今後も継続して実施していくもの
 役割： 学区（住民が主体的に行うもの）
 協働（住民と行政が協力して行うもの）
 期間： 短期（1～2年）で実施
 中期（3～4年）で実施
 後期（5年以上）で実施

(安心・安全) みんなが安心・安全に暮らせるまちづくり

取組内容	具体的活動内容	新規	継続	役割		期間		
				学区	協働	短期	中期	長期
通学路の安全確保	通学路見守り隊・安全指導	○		○		○		
通学路の点検運動	P T A ・ 町内会 ・ 交通安全協会 で実施		○	○				
子どもたちの安全確保犯罪等の抑止	防犯カメラの設置	○			○		○	
通勤時福山方面への乗り入れ	信号機の設置など	○			○			○
高齢者・単独世帯への取り組み	泉学区緊急時連絡カード精度向上 避難行動要支援者に対する支援プランの充実		○		○			
高齢者が安心なまちづくり	見守り活動の強化・充実 魅力あるいきいきサロンの構築		○	○				
自転車道の安全確保	自転車道の点検見直し	○			○		○	
自転車のマナー向上 狭い道路でのゆずりあい	交通教室の実施 交通マナー看板の掲出		○		○			
夜間の騒音・不審車両	山手交番連絡協議会の充実		○		○			
芦田川一斉清掃と草刈り 雑草で道路が狭隘	時期の調整 草刈り回数が増		○		○			

(防災)

災害につよいまちづくり

取組内容	具体的活動内容	新規	継続	役割		期間		
				学区	協働	短期	中期	長期
地域防災力の強化	防災装備品の充実		○		○			
平日昼間の火災	消防団OBの組織作り 住民の初期消火活動の強化		○	○				
急傾斜地における土砂災害	地域独自の防災避難計画の策定及び避難訓練の実施	○		○		○		
	急傾斜地の対策工事の実施		○		○			
道路の狭隘	4トン車(消防車)が入る道路に拡幅	○			○			○
芦田川洪水時の心配	芦田川雑木の伐採	○			○			○
自然災害(浸水・土石流)	防災マップの作成	○			○	○		
防災訓練の実施	初期消火訓練、応急措置、炊き出し		○		○			

(教育・文化)

みんなで学びあうまちづくり

取組内容	具体的活動内容	新規	継続	役割		期間		
				学区	協働	短期	中期	長期
地域の歴史・遺跡の伝承	郷土史ツアーなど		○	○				
伝統芸能の継承	はね踊りなど		○	○				
人権教育の推進	城西校区人権講座・住民学習会		○	○				
子ども講座(夏冬休み)	陶芸教室・昔の遊びなど		○	○				
料理教室	おっちゃん料理教室		○	○				
	シニア料理教室							
地域教育力の向上	子どもサポーターの養成 土曜チャレンジ教室	○		○		○		

(人材・活力)

みんなで作るまちづくり

取組内容	具体的活動内容	新規	継続	役割		期間		
				学区	協働	短期	中期	長期
消防団員の確保	粘り強く勧誘、理解を求める		○	○				
少子高齢化等諸行事に対応が困難	子育て支援などの強化		○		○			
高齢化による町内会の運営危機	町内会加入率の向上 役員の負担の軽減		○		○			
町内会で女性相互の連携	女性会組織の充実 目的意識の明確化		○	○				
民生委員の充実	各町内1人以上の民生委員を配置	○			○			○

(健康・福祉)

絆を深めつながりと笑顔あふれるまちづくり

取組内容	具体的活動内容	新規	継続	役割		期間		
				学区	協働	短期	中期	長期
学区民運動会 スポーツ大会	泉小学校、泉学区との合同 ソフトボール・バレーボール・卓球等		○	○				
ウォーキングの習慣	ウォーキングマップの活用		○	○				
生涯スポーツの推奨	グラウンドゴルフ・ニュースポーツ		○	○				
ふれあい広場	交通パネル、福祉用具の展示等		○	○				
福祉弁当の配布	85歳以上の学区居住者		○	○				
福祉交流会	サロン実施例の発表		○	○				
生きがいのあるまちづくり	歌声喫茶・カラオケタイム等		○	○				
安心して暮せるまちづくり	見守りボランティアの養成	○		○				○
盆踊り大会	盆踊り		○	○				
子育て支援	おもちゃサロン		○	○				
	支援ボランティアの養成	○		○			○	
	多目的トイレの設置	○			○			○

(環境・美化)

自然に優しいまちづくり

取組内容	具体的活動内容	新規	継続	役割		期間		
				学区	協働	短期	中期	長期
ばら花壇の整備管理	ばら植栽講習会・ばら苗の配布		○	○				
花いっぱい運動	花苗の配布・芝桜の植え付け		○	○				
町内清掃活動	芦田川一斉清掃・町内一斉清掃		○	○				
温暖化防止活動	グリーンカーテンの取り組み ソーラーパネルを会館等へ設置		○	○				
ゴミ分別への取り組み	リングプル・ボトルキャップの回収		○	○				
資源の活用	ゴミ減らし・資源回収		○	○				

◇地域を守る消防団（山郷分団）

山郷分団は、山手町及び郷分町を区域としており、団員は50名で、本部（分団長1名、副分団長2名、分団訓練指導員1名）と地域ごとに設置された5つの班で構成されています。

班は、部長1名、班長1名のほか7～8名の班員で構成され、各班には活動拠点である器具庫が設置されており、消防車両のほかに、活動に必要な資器材を配備しています。

【主に泉学区を区域とする班】

【主に山手学区を区域とする班】

1班 小型ポンプ積載車

2班 ポンプ車

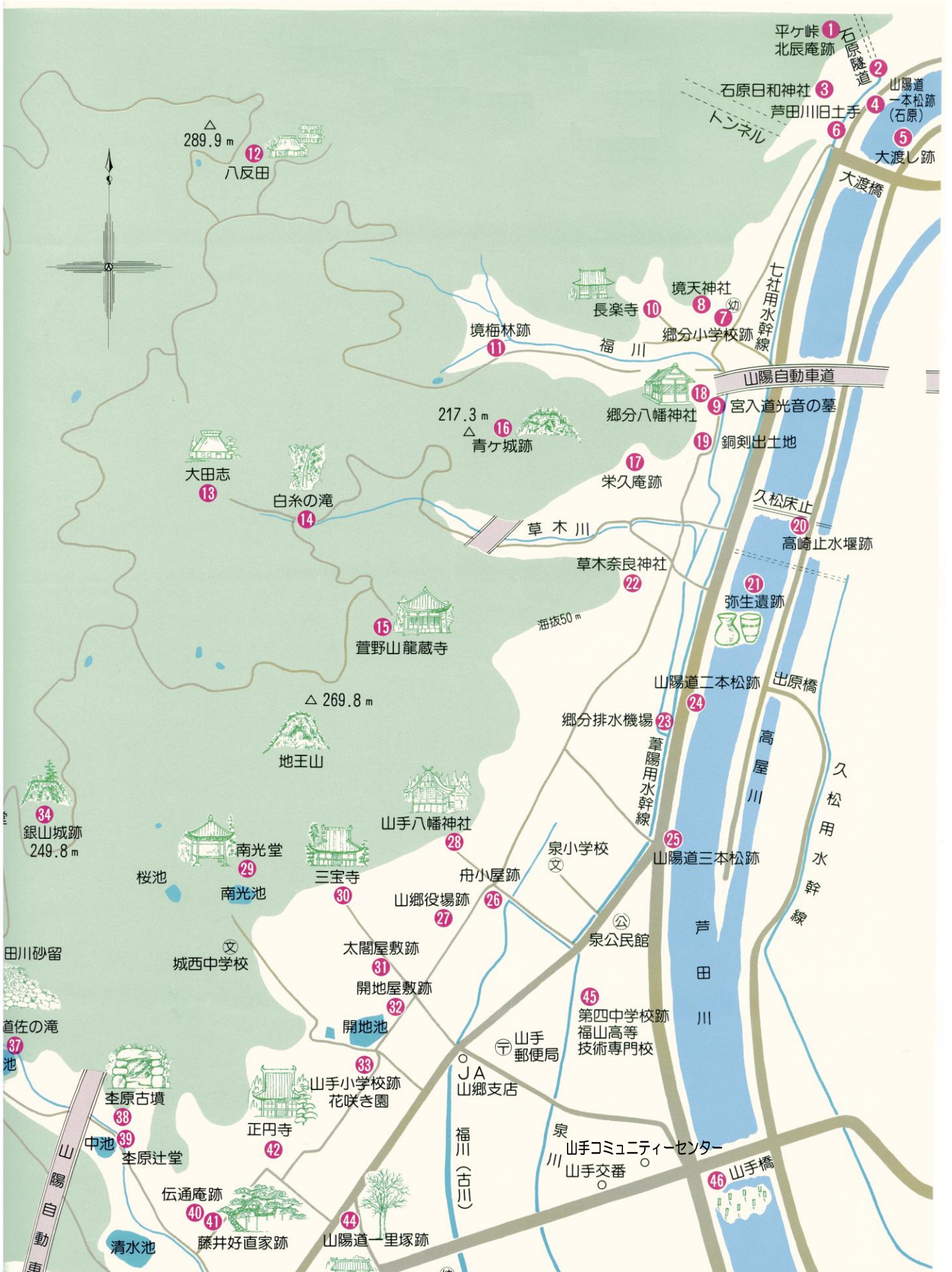
3班 小型ポンプ積載車

6班 小型ポンプ積載車

5班 小型ポンプ積載車

なお、消防局の管轄では、山手町が南消防署管内、郷分町が北消防署管内となっています。

8. 山手・郷分歴史マップ



9. まちづくり推進委員会組織図

まちづくり推進委員会は、市内全域に2006年（平成18年）、それぞれの地域の実情に沿ったまちづくりを進めるため、各種団体を持って設立されました。

泉学区においても下記の団体等が力を合わせ、地域の課題解決やコミュニティの育成などに取り組んでまいりました。

少子高齢化と人口減少は、家庭や地域社会、更には私たちの日常生活に大きな影響を与えます。こうしたなかで、「自助」・「共助」・「公助」による、協働のまちづくりの推進が求められています。

自分でできることは自分で、地域でできることは地域で、行政にもとめるものは行政と連携し、お互いの責任と役割を分担しながら、誰もが住みよい、安心・安全で快適なまちづくりを進めてまいります。

まちづくり推進委員会

・ 泉学区町内会連合会

- ・ 石原横路町内会
- ・ 境町内会
- ・ 草木町内会
- ・ 矢田町内会
- ・ 前奥町内会
- ・ 山手東町内会
- ・ 山手中央町内会
- ・ 山手曙町内会
- ・ 泉町内会
- ・ 泉川町内会
- ・ ハートビル町内会

- ・ 泉学区明るいまちづくり委員会
- ・ 泉学区福祉を高める会
- ・ 泉学区体育会
- ・ 泉学区女性会
- ・ 泉学区子ども会育成協議会

- ・ 泉小学校
- ・ 泉小学校PTA
- ・ 城西中学校
- ・ 城西中学校PTA
- ・ 消防団山郷分団
- ・ 交通安全協会山郷支部
- ・ 部落解放同盟山手支部
- ・ 泉学区自主防災協議会
- ・ 泉学区公衆衛生推進委員会
- ・ 泉学区老人クラブ連合会
- ・ 泉学区青少年育成員協議会
- ・ 泉学区防犯組合
- ・ 南防火協会泉支部
- ・ 泉公民館
- ・ かやの会（泉学区市行政職員の会）



おもちゃサロン



ふれあい教室



盆踊り



ふれあい広場



防災訓練



防災訓練

誰もが住みよいまちづくり

ふれあい

支え合う

安心・安全なまちづくり



郷分排水機場

泉学区まちづくり計画

泉学区まちづくり推進委員会

2015年（平成27年）11月

